

## 第69回日本公衆衛生学会総会（東京都）のまとめ

### 1 学会長・副学会長・顧問

名誉学会長	石原慎太郎	東京都知事
名誉顧問	多田 正見	特別区長会長
学 会 長	大井田 隆	日本大学医学部社会医学系公衆衛生分野教授
学会長代行	桜山 豊夫	東京都福祉保健局技監
副 学 会 長	鈴木 聡男	社団法人東京都医師会長
	杉村 栄一	東京都福祉保健局長
監 事	梶原 洋	東京都福祉保健局総務部長
	遠藤 明	財団法人医療情報システム開発センター理事長

### 2 開催日

平成22年10月27日（水）～29日（金）

### 3 開催地

東京都千代田区

### 4 会 場

東京国際フォーラム  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1  
TEL：03-5221-9000（代）

### 5 参加者数

有料入場者数 4,099人

No.	都道府県	人数	%
事前参加登録者：		2,360名	100%
1	東京都	503名	21%
2	大阪府	196名	8%
3	神奈川県	143名	6%
4	埼玉県	120名	5%
5	茨城県	111名	5%
6	愛知県	110名	5%
7	千葉県	105名	4%
8	兵庫県	76名	3%
9	福岡県	70名	3%
10	京都府	69名	3%
11	岡山県	56名	2%
12	富山県	53名	2%
13	栃木県	51名	2%
14	北海道	50名	2%
15	奈良県	41名	2%
16	秋田県	40名	2%
17	山梨県	37名	2%
18	青森県	36名	2%
19	静岡県	36名	2%
20	群馬県	34名	1%
21	その他	423名	18%
当日参加登録者：		1,739名	
全参加登録者：		4,099名	

## 6 総会・特別行事等

〈第1日目 2010年10月27日(水)〉

### 特別講演1

10:15~11:05 第1会場(ホールC)

社会保障を語る

座長:長野みさ子(東京都多摩府中保健所)

演者:村尾 信尚(関西学院大学東京丸の内キャンパス)

### 学会長講演

11:05~11:50 第1会場(ホールC)

公衆衛生とは何か~調査研究から政策へ~

座長:本橋 豊(秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座)

演者:大井田 隆(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

### 教育講演1

15:40~16:25 第4会場(ホールD5)

特定健診・特定保健指導の現状と課題—市町村国保における実施状況から—

座長:岡村 智教(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学)

演者:安村 誠司(福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座)

### 教育講演2

16:25~17:10 第4会場(ホールD5)

親子保健・小児医療をめぐる最近の動向

座長:日暮 眞(高崎健康福祉大学大学院)

演者:山縣然太郎(山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座)

### メインシンポジウム1

13:45~15:30 第1会場(ホールC)

科学的根拠に基づいた公衆衛生政策

座長:中村 好一(自治医科大学公衆衛生学教室)  
辻 一郎(東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野)

演者:「健やか親子21:指標が語る取り組みの浸透と課題」

加藤 則子(国立保健医療科学院生涯保健部)

「循環器疾患予防対策のためのエビデンス—未来に向かって—」

三浦 克之(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門)

「エビデンス形成とがん対策」

大内 憲明(東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座腫瘍外科学分野)

「科学的根拠に基づく公衆衛生:公衆衛生の現場から」

宇田 英典(鹿児島県始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部兼始良保健所)

### シンポジウム1

13:45~15:30 第4会場(ホールD5)

医療資源の適正配分と医療連携の在り方

座長:河原 和夫(東京医科歯科大学大学院医療政策学講座政策科学分野)

長谷川敏彦(日本医科大学医療管理学教室)

演者:「医療圏の効率性について」

河口 洋行(国際医療福祉大学大学院医療福祉学科)

「患者移動と医療資源の適正配置」

伏見 清秀(東京医科歯科大学大学院医療情報システム学分野)

「行政理念の実現方法としての医療計画」

馬神 祥子(東京都福祉保健局医療政策部医療改革推進担当)

「市型保健所からみた医療計画」

永井 尚子(和歌山市健康福祉局健康推進部(和歌山市保健所))

「精神医療における医療計画の必要性」

山之内芳雄(藤田保健衛生大学医学部精神医学)

### 公衆衛生行政研修フォーラム1

13:45~15:30 第2会場(ホールB5)

がん検診受診率50%をめざして

座長:田島 和雄(愛知県がんセンター研究所)

祖父江友孝(国立がん研究センターがん対策情報センター)

演者:「がん検診50%推進本部」

鈴木 健彦(厚生労働省保健局総務課がん対策推進室)

「企業連携によるがん検診受診率向上」

中川 恵一(東京大学医学部附属病院放射線科/緩和ケア診療部)

「市町村でのがん検診受診率向上—山形県酒田市の取り組み—」

荒生 佳代(山形県酒田市健康福祉部健康課)

「検診機関から見た受診率」

渋谷 大助 (財団法人宮城県対がん協会が  
ん検診センター)

尾形由起子 (福岡県立大学看護学部)

### 公衆衛生行政研修フォーラム 2

15:40~17:25 第2会場 (ホール5)

21世紀のパンデミックにどう対応すべきか—新型インフルエンザの経験から学ぶ—

※H23年日本医学会プレシンポジウム—日本医学会共催

座長: 櫻山 豊夫 (東京都福祉保健局)

遠藤 弘良 (東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座)

演者: 「国の視点から」

正林 督章 (前・厚生労働省新型インフルエンザ対策推進室)

「自治体における対応と教訓—東京都」

前田 秀雄 (東京都福祉保健局感染症危機管理担当部)

「保健所の視点から」

白井 千香 (神戸市保健福祉局/神戸市保健所)

「保健所の視点から: 保健師」

春山 早苗 (自治医科大学看護学部)

### 公衆衛生行政研修フォーラム 3

13:45~15:30 第3会場 (ホールD7)

公衆衛生看護の発展に向けて一点から面へと展開する保健師活動

座長: 村嶋 幸代 (東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻地域看護学分野)

石垣 和子 (千葉県立保健医療大学健康科学部)

演者: 「地域保健の現状と求められる保健活動」

勝又 浜子 (厚生労働省健康局総務課保健指導室)

「個へのケアとネットワークで展開する保健師の活動」

永江 尚美 (鳥根県浜田保健所)

「地域に元気の種まきいきいき元気笑顔いっぱい『元気磨きたい』活動」

石田奈津子 (新潟県燕市健康福祉部健康づくり課)

「『個へのケアと集団へのケア, 両方を展開できる保健師の育成を目指して』

—国民の健康を守る保健師 教育の質向上にむけた取り組み—

### 公衆衛生行政研修フォーラム 4

15:40~17:25 第3会場 (ホールD7)

地域の健康危機に栄養・食からどう対処するか

座長: 田中 久子 (女子栄養大学)

千葉 昌樹 (名寄市立大学保健福祉学部栄養学科)

演者: 「公衆衛生活動での健康危機管理と栄養・食との関わり」

中瀬 克己 (岡山市保健所)

「地域の食のネットワークを活用した健康危機管理—二度の震災対応を経験して—」

鈴木 一恵 (新潟県柏崎地域振興局健康福祉部)

「食育の質の向上から見た公衆衛生活動における健康危機管理への期待」

河野 美穂 (厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室)

### 日本公衆衛生学会認定専門家制度発足記念シンポジウム

15:40~17:25 第1会場 (ホールC)

明日の公衆衛生に求められる専門性

座長: 高野 健人 (東京医科歯科大学大学院健康推進医学)

澁谷いづみ (愛知県半田保健所)

演者: 「公衆衛生専門家養成制度の国際比較—イギリスの制度を中心に—」

曾根 智史 (国立保健医療科学院公衆衛生政策部)

「公衆衛生の日常業務に求められる『分析の目』」

村嶋 幸代 (日本公衆衛生学会専門職制度統括会議委員/東京大学大学院地域看護学)

「地域保健医療福祉業務における専門職としてのやりがい」

今村 恵 (鹿児島県始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部健康企画課兼始良保健所)

「地域ネットワークを推進する管理栄養士の公衆衛生専門性」

澤口眞規子 (岩手県県央保健所健康づくりチーム)

「地方主権時代の地域公衆衛生活動を牽引する専門性」

澁谷いづみ (日本公衆衛生学会専門職委員/

全国保健所長会/愛知県半田保健所)

康都市アプローチ

座長:大黒 寛(多摩小平保健所)

演者:高野 健人(東京医科歯科大学大学院)

#### ランチョンセミナー1

12:00~13:00 第1会場(ホールC)

世界的な公衆衛生の課題—子宮頸がん予防

座長:香山不二雄(自治医科大学医学部環境毒理学部門)

演者:今野 良(自治医科大学附属さいたま医療センター産婦人科)

共催:グラクソ・スミスクライン株式会社

#### ランチョンセミナー2

12:00~13:00 第2会場(ホール5)

不眠の臨床的意義と対応

座長:兼板 佳孝(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

演者:井上 雄一(東京医科大学睡眠学講座/神経研究所附属睡眠学センター)

共催:日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社

#### ランチョンセミナー3

12:00~13:00 第3会場(ホールD7)

牛乳・乳製品摂取とメタボリックシンドロームに関するエビデンス

座長:伊木 雅之(近畿大学医学部公衆衛生学教室)

演者:田中 司朗(京都大学医学部附属病院探索医療センター検証部)

共催:社団法人日本酪農乳業協会

#### ランチョンセミナー4

12:00~13:00 第4会場(ホールD5)

結核感染診断におけるクォンティフェロンの使い方—特に接触者健康診断と院内感染対策

座長:森 亨(公益財団法人結核予防会結核研究所)

演者:鈴木 公典(財団法人ちば県民保健予防財団)

共催:日本ビーシージー製造株式会社

#### 総会

<第2日目 2010年10月28日(木)>

#### 記念講演

13:00~13:50 第1会場(ホールC)

包括的地域保健活動の展開手法として開発された健

#### 教育講演3

13:50~14:35 第1会場(ホールC)

医療政策領域の実証研究

座長:金田麻里子(荒川区保健所)

演者:小林 廉毅(東京大学大学院医学系研究科健康医療政策学/公衆衛生学)

#### 教育講演4

13:00~13:50 第3会場(ホールD7)

偽造医薬品の消費による健康被害リスクの低減対策

座長:立道 昌幸(昭和大学医学部衛生学)

演者:杉田 稔(東邦大学医学部衛生学教室)

#### 教育講演5

15:45~16:35 第3会場(ホールD7)

食品保健とリスクコミュニケーション

座長:勝村 俊仁(東京医科大学健康増進スポーツ医学講座)

演者:丸井 英二(順天堂大学医学部公衆衛生学教室)

#### 教育講演6

15:35~16:20 第4会場(ホールD5)

感染症対策における公衆衛生学の役割—インフルエンザワクチンを例として

座長:吉村 健清(産業医科大学)

演者:廣田 良夫(大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学)

#### メインシンポジウム2

14:45~16:30 第1会場(ホールC)

健康づくりのポピュレーションアプローチ—健康づくり支援環境をどう整備するか?—

座長:下光 輝一(東京医科大学公衆衛生学講座)

川久保 清(共立女子大学家政学部食物栄養学科)

演者:「健康日本21の取り組みと健康づくりにおける環境整備方策のあり方」

宮崎 雅則(厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室)

「身体活動支援環境に関するエビデンスと具体的方策」

井上 茂(東京医科大学公衆衛生学講座)

「食環境整備に関するエビデンスと具体的

方策」  
 武見ゆかり（女子栄養大学栄養学部）  
 「喫煙に関する環境整備の現状と今後の課題」  
 中村 正和（大阪府立健康科学センター健康生活推進部）  
 「地理情報システムを活用した健康づくり支援環境研究の推進」  
 中谷 友樹（立命館大学文学部地理学教室（立命館大学歴史都市防災研究センター兼担））

### シンポジウム2

16:35~18:10 第1会場（ホールC）  
 地域における自殺対策の展開戦略と評価：自殺対策の強化に向けて  
 座長：川上 憲人（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）  
 本橋 豊（秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座）  
 演者：「東京都足立区における自殺対策」  
 倉橋 俊至（足立保健所）  
 「静岡県におけるこれからの自殺対策」  
 松本 晃明（静岡県精神保健福祉センター）  
 「長崎県における自殺対策」  
 大塚 俊弘（長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター）  
 「自殺対策強化の国家戦略の動向と日本公衆衛生学会からの提言」  
 本橋 豊（秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座）

### シンポジウム3

14:50~16:35 第2会場（ホール5）  
 介護予防のエビデンスとプラクティス：エビデンスからこれからの介護予防プログラムを考える  
 座長：小風 暁（昭和大学医学部公衆衛生学講座）  
 武林 亨（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室）  
 演者：「介護予防プログラムの有効性：系統的レビューの結果から『運動機能の向上』」  
 西脇 祐司（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学）  
 「介護予防プログラムの有効性：系統的レビューの結果から『栄養』」  
 寶澤 篤（山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座）

「介護予防プログラムの有効性：系統的レビューの結果から『口腔』」  
 内藤 徹（福岡歯科大学歯学部総合歯科学講座高齢者歯科学分野）  
 「現場における介護予防プログラムの実際とその評価『高知市の取り組み』」  
 堀川 俊一（高知市健康福祉部）

### シンポジウム4

9:45~11:30 第3会場（ホールD7）  
 睡眠公衆衛生の推進に向けて  
 座長：中路 重之（弘前大学大学院医学研究科社会医学講座）  
 兼板 佳孝（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）  
 演者：「母子保健における睡眠公衆衛生」  
 土井由利子（国立保健医療科学院研修企画部）  
 「学校保健における睡眠公衆衛生」  
 兼板 佳孝（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）  
 「産業保健における睡眠公衆衛生」  
 高橋 正也（労働安全衛生総合研究所）  
 「成人保健における睡眠公衆衛生」  
 谷川 武（愛媛大学大学院医学系研究科公衆衛生・健康医学）  
 「地域保健における睡眠公衆衛生：生活習慣の観点から」  
 中路 重之（弘前大学大学院医学研究科社会医学講座）  
 「老人保健における睡眠公衆衛生」  
 尾崎 章子（東邦大学医学部看護学科）

### 公衆衛生行政研修フォーラム5

9:45~11:30 第2会場（ホール5）  
 公衆衛生行政職、特に保健所における人材育成について  
 座長：金田麻里子（荒川区健康部）  
 岸本 泰子（島根県松江保健所）  
 演者：「国立保健医療科学院における公衆衛生行政職の人材育成・研修に関して」  
 曾根 智史（国立保健医療科学院公衆衛生政策部）  
 「公衆衛生医師の確保と育成に関して」  
 浦山 京子（江東区保健所）  
 「保健師の育成と地域保健実習について」  
 細川えみ子（葛飾区保健所）  
 「都における保健師人材育成の取組について」

て」  
田中 修子(東京都保健福祉局保健政策部/  
南多摩保健所)  
「東京都における監視系職員の人材確保と  
育成」  
新井 英人(東京都福祉保健局健康安全部)

### 公衆衛生行政研修フォーラム6

13:00~14:45 第2会場(ホール5)

特定健診・特定保健指導の5年目に向けて

座長: 畝 博(福岡大学医学部)  
磯 博康(大阪大学大学院医学系研究科)  
演者: 「疫学研究と予防対策の現状からみた特定  
健診・特定保健指導への考察」  
北村 明彦(大阪府立健康科学センター)  
「大阪府泉佐野市における特定健診・特定  
保健指導の実践の現場より」  
田平 昌代(泉佐野市保健センター)  
「特定健診・特定保健指導の5年目に向け  
て~3年目を迎えて思うこと~」  
椎名 由美(茨城県筑西市役所健康増進部  
健康づくり課)  
「我が国の生活習慣病対策と特定健診・特  
定保健指導について」  
赤羽根直樹(厚生労働省健康局総務課生活  
習慣病対策室)

### 地衛研フォーラム

13:50~15:45 第3会場(ホールD7)

食の安全・安心確保に向けた取り組み

座長: 木村 博承(厚生労働省大臣官房参事官)  
中西 好子(東京都健康安全研究センター)  
演者: 「ノロウイルス感染防止に向けた地衛研の  
挑戦『ノロウイルスタスクフォースの取  
組と成果』」  
保坂 三継(東京都健康安全研究センター  
環境保健部/ノロウイルスタ  
スクフォースチーム)  
「食中毒事件の原因究明やディフューズア  
ウトブレイクの早期発見に向けた検査技術  
開発と全国ネットワークー腸管出血性大腸  
菌感染症を例に一」  
寺嶋 淳(国立感染症研究所細菌第一部)  
「食中毒事件の原因究明やディフューズア  
ウトブレイクの早期発見に向けた検査技術  
開発と全国ネットワークー東京都内で発生  
した腸管出血性大腸菌感染症を例に一(追  
加発言)」

甲斐 明美(東京都健康安全研究センター  
微生物部)

「輸入食品の安全性確保一検疫所における  
水際での輸入食品監視指導の取り組み一」

塚本 郁夫(厚生労働省東京検疫所食品監  
視課)

「地域住民に食の安全・安心を伝えるリス  
クコミュニケーションへの取組」

古田 賢二(東京都多摩立川保健所生活環  
境安全課)

### 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート 委員会フォーラム

9:45~11:30 第1会場(ホールC)

新時代の危機兆候の早期把握とその対応

~何が必要で何が可能か, 公衆衛生モニタリング・  
レポート委員会の活動から~

座長: 川上 憲人(東京大学大学院医学系研究科  
精神保健学分野)

佐甲 隆(三重県伊賀保健所)

指定発言: 「公衆衛生モニタリング・レポート委  
員会の活動とフォーラムに期待する  
もの」

原田 規章(山口大学大学院医学系研究科  
環境保健医学分野)

演者: 「環境発がん物質のリスク評価: 潜在的健  
康危機を防ぐリスク評価のあり方につい  
て」

津金昌一郎(国立がん研究センターがん予  
防・検診研究センター予防研  
究部)

「社会格差と子どもの健康に与える影響と  
それを回避する早期の社会的公平性確保に  
ついて」

藤原 武男(独国立成育医療研究センター  
研究所成育社会医学研究部)

「非正規雇用問題の本質と健康影響: 危機  
を回避するための保健医療専門職の役割」

井上まり子(帝京大学医学部衛生学公衆衛  
生学講座)

「医療危機の早期兆候と対応のありかた:  
救急問題, 医療崩壊の危険とその兆候, 早  
期対策の可能性」

長谷川敏彦(日本医科大学医療管理学教室)

「行政統計リンケージの意義と可能性」

島 茂(三重大学大学院医学系研究科  
公衆衛生・産業医学分野)

### 日本学術会議・日本公衆衛生学会合同公開シンポジウム

9:45~11:30 第4会場(ホールD5)

#### 公衆衛生大学院の現状と展望

座長:小林 廉毅(東京大学大学院医学系研究科  
公共健康医学専攻)

馬場園 明(九州大学大学院医学研究科  
療養・管理学講座)

演者:「九州大学大学院医学系学府医療経営・管  
理学専攻のミッションとストラテジー」

馬場園 明(九州大学大学院医学系学府医  
療経営・管理学講座)

「京都大学大学院医学研究科社会健康医学  
系専攻の概要」

小杉 眞司(京都大学大学院社会健康医学  
系専攻医療倫理学・遺伝医療  
学)

「東京大学大学院医学系研究科公共健康医  
学専攻の概要」

小林 廉毅(東京大学大学院医学系研究科  
公共健康医学専攻)

「大阪大学大学院医科学修士課程「健康医  
療問題解決能力の涵養」教育プログラムの  
概要」

磯 博康(大阪大学大学院医学系研究科  
社会環境医学講座公衆衛生学)

「筑波大学大学院フロンティア医科学専攻  
(公衆衛生学コース)の概要」

大久保一郎(筑波大学大学院人間総合科学  
研究科ヒューマン・ケア科学  
専攻)

### 日本学術会議パブリックヘルス科学分科会・日本公衆衛生学会合同 公開シンポジウム

13:00~15:30 第4会場(ホールD5)

#### パブリックヘルス問題としての健康食品

座長:徳留 信寛(独立行政法人国立健康・栄養  
研究所)

唐木 英明(日本学術会議/東京大学)

#### Opening Remark:

岸 玲子(北海道大学環境健康科学研究  
教育センター)

演者:「パブリックヘルス問題としての健康食  
品:序論」

津谷喜一郎(東京大学大学院薬学系研究科  
医薬政策学)

「欧米のサプリメント行政に見られるパラ  
ダイムシフト」

大濱 宏文(一般社団法人日本健康食品規  
格協会/日本学術会議)

「健康食品とリスクコミュニケーション」

唐木 英明(東京大学/日本学術会議)

「健康食品のレギュラトリーサイエンス一  
法・自主規制・自己決定権—サプリメント  
の倫理と法(レジュメ)」

光石 忠敬(光石法律特許事務所)

「健康食品と健康概念」

水谷 雅彦(京都大学大学院文学研究科倫  
理学研究室)

#### Closing Remark:

徳留 信寛(独立行政法人国立健康・栄養  
研究所)

### 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会設立記念公開フ ォーラム

#### 日本学術会議・日本公衆衛生学会・全国公衆衛生関 連学協会連絡協議会共催公開フォーラム

16:35~18:30 第3会場(ホールD7)

みんなで進めよう,子どものヘルスプロモーシ  
ョン!

座長:下光 輝一(東京医科大学公衆衛生学講座)

朝田 芳信(鶴見大学歯学部小児歯科学講  
座)

基調講演:日本の子どものヘルスプロモーション

實成 文彦(山陽学園大学・山陽学園短期  
大学)

演者:「『健やか親子21』の今後の取り組み」

山縣然太郎(山梨大学大学院医学工学総合  
研究部社会医学講座)

「生活習慣病胎児期発症(起源)説とライ  
フスタイル」

福岡 秀興(早稲田大学胎生期エピジェネ  
ティック制御研究所)

「教育・健康教育のパラダイムシフトを求  
めて」

植田 誠治(聖心女子大学文学部教育学科)

「小児医療の課題と展望」

横田 俊平(横浜市立大学生殖・発育・加  
齢病態医学小児科学)

「家庭・学校・地域・職域の連携—看護専  
門職の機能と役割」

小西美智子(岐阜県立看護大学)

「家庭・学校・地域・職域の連携(2)栄養専  
門職の機能と役割」

伊達ちぐさ(兵庫県立大学環境人間学部)

**ランチョンセミナー5**

11:45~12:45 第1会場(ホールC)  
新しいワクチンの導入と今後のわが国のワクチン戦略を考える

座長:五十嵐 隆(東京大学大学院医学系研究科  
小児医学講座)

演者:多屋 馨子(国立感染症研究所感染症情報  
センター)

共催:ファイザー株式会社

**ランチョンセミナー6**

11:45~12:45 第2会場(ホール5)  
予防接種をめぐる最近の動向

座長:奥野 良信(一般財団法人阪大微生物病研  
究会観音寺研究所)

演者:岡部 信彦(国立感染症研究所感染症情報  
センター)

共催:一般財団法人阪大微生物病研究会

**ランチョンセミナー7**

11:45~12:45 第3会場(ホールD7)  
高病原性新型H5N1インフルエンザに対する抗イン  
フルエンザウィルス剤の備蓄・緊急大量生産・予  
防投与による社会システム崩壊防止戦略

座長:稲垣 智一(墨田区保健所)

演者:杉田 稔(東邦大学医学部衛生学教室)

共催:第一三共株式会社

**ランチョンセミナー8**

11:45~12:45 第4会場(ホールD5)  
保健活動の現場で役立つ睡眠衛生・睡眠障害の知識

座長:本橋 豊(秋田大学公衆衛生学)

演者:田ヶ谷浩邦(北里大学医療衛生学部健康科  
学科/北里大学東病院精神神  
経科)

共催:田辺三菱製薬株式会社/アルフレッサフ  
ァーマ株式会社

**第69回日本公衆衛生学会総会・国際サテライトシン  
ポジウム/第4回アジア公衆衛生協会会議/第2回  
WFPHA 西太平洋地区会議**

主 催 財日本公衆衛生協会, 第69回日本公衆  
衛生学会総会

共 催 世界公衆衛生協会連盟, WHO 神戸セ  
ンター

開催日時 平成22年10月28日(木)

9:00~17:00

会 場 国立保健医療科学院 交流対応大会議

室(2階)

テ ー マ Urbanization and Public Health (都市  
化と公衆衛生)

プログラム

【開会式】司会:篠崎 英夫(日本公衆衛生協会  
常任理事)

9:00~9:10 開会挨拶:  
多田羅浩三(日本公衆衛生協会理  
事長)

9:10~9:20 来賓祝辞:  
Dr. Ulrich Laaser (WFPHA 会長)

9:20~9:30 来賓祝辞:  
Dr. Cai Jiming (中華予防医学協  
会副会長)

9:30~9:40 来賓祝辞:  
外山 千也(厚生労働省健康局局  
長)

9:40~9:50 来賓祝辞:  
林 謙治(国立保健医療科学院  
院長)

9:50~10:00 来賓祝辞:  
遠藤 明(日本公衆衛生学会監  
事)

**【基調講演】**

座長:遠藤 弘良(東京女子医科大学教授)

10:30~11:00

①北川 定謙(前日本公衆衛生協会会長)

11:00~11:30

②Dr. Ulrich Laaser (WFPHA 会長)

11:30~12:00

③Dr. Muhammad Mahmood Afzal  
(Programme Manager, Urbanization and Health  
Equity, WHO 神戸センター)

**【国別報告】**

座長:遠藤 弘良(東京女子医科大学教授)

13:00~13:20 ①国別報告(中国)+討議

13:20~13:40 ②国別報告(インドネシア)+討議

13:40~14:00 ③国別報告(日本①)+討議

14:00~14:20 ④国別報告(日本②)+討議

14:20~14:40 ⑤国別報告(韓国)+討議

14:40~15:00 休 憩

15:00~15:20 ⑥国別報告(フィリピン)+討議

15:20~15:40 ⑦国別報告(タイ)+討議

15:40~16:00 ⑧国別報告(ベトナム)+討議

16:00~17:00 全体討議

**【歓迎夕食会】**

司会:緒方 剛(日本公衆衛生協会国際委員)

17:30~19:30 歓迎夕食会(国立保健医療科学院)

食堂)

として実効性のある規制・対策をどう進めるか?—

座長：中村 正和 (大阪府立健康科学センター健康生活推進部)

<第3日目 2010年10月29日 (金)>

特別講演 2

9:00~9:50 第2A会場 (ホール5(1))  
統一的なリスク評価は可能か—環境・食品・衛生—

座長：近藤 健文 (日本公衆衛生学会)

演者：中西 準子 (独立行政法人産業技術総合研究所安全科学研究部門)

大島 明 (大阪府立成人病センター)

演者：「モニタリング調査からみた喫煙行動，受動喫煙曝露の実態と今後の課題」

尾崎 米厚 (鳥取大学医学部環境予防医学分野)

「たばこ税・価格の大幅引き上げの正当性とロードマップ」

望月友美子 (国立がん研究センター研究所たばこ政策研究プロジェクト)

「受動喫煙防止のための法規制の強化」

大和 浩 (産業医科大学産業生態科学研究所健康開発科学研究室)

「保険適用5年目の禁煙治療の現状と今後の課題」

中村 正和 (大阪府立健康科学センター健康生活推進部)

「たばこ対策の経済効果」

福田 敬 (東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学)

指定発言：高城 亮 (厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室)

「喫煙による健康被害の実態とたばこ対策の疾病減少効果」

片野田耕太 (国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報統計部)

教育講演 7

13:30~14:10 第1会場 (ホールC)  
飲酒と健康—どのような飲み方がいけないのか—

座長：岡山 明 (財団法人結核予防会第一健康相談所)

演者：角田 透 (杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室)

教育講演 8

14:20~15:20 第2A会場 (ホール5(1))  
国立保健医療科学院の将来への展望

座長：久道 茂 (財団法人宮城県対がん協会)

演者：林 謙治 (国立保健医療科学院)

教育講演 9

15:20~16:05 第2A会場 (ホール5(1))  
介護保険制度の未来と課題—家族による介護，社会による介護，そして地域包括ケアへ—

座長：松本 勝明 (国立社会保障・人口問題研究所)

演者：筒井 孝子 (国立保健医療科学院福祉サービス部)

特別教育講演

9:00~9:40 第1会場 (ホールC)  
わが国におけるタバコ規制推進への期待  
座長：中村 正和 (大阪府立健康科学センター)  
演者：大島 明 (大阪府立成人病センターがん相談支援センター)

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社  
大正製薬株式会社/グラクソ・スミスクライン株式会社  
ノバルティスファーマ株式会社  
ファイザー株式会社

シンポジウム 5

9:40~12:00 第1会場 (ホールC)  
たばこ規制の現状と今後の課題—FCTCの批准国

シンポジウム 6

10:00~11:45 第2A会場 (ホール5(1))  
建築物衛生法施行40周年を記念して

座長：篠崎 英夫 (国立保健医療科学院)  
相澤 好治 (北里大学医学部)

演者：「建築物衛生法の社会への貢献度」

中原 俊隆 (京都大学大学院医学研究科)

「高齢者の特徴と建築物環境について」

栃原 裕 (九州大学大学院芸術工学研究院)

「東京都における特定建築物の環境衛生確保について」

大貫奈穂美 (東京都健康安全研究センター広域監視部建築物監視指導課)

「建築物衛生法の変遷と役割」

中西さやか (厚生労働省健康局生活衛生課)

## 健康運動指導分科会創設記念基調講演・シンポジウム

9:00~11:45 第2B会場(ホール5(2))  
 特定保健指導に求められる「正しくたのしい健康づくり」

### 《基調講演》

確かな減量効果をあげるための保健指導—スマートダイエット—

座長：増田 和茂(健康・体力づくり事業財団)

演者：田中喜代次(筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻)

### 《シンポジウム》

1に運動 2に食事 しっかり禁煙 がんばれ健康運動指導士

座長：宮地 元彦(独立行政法人国立健康・栄養研究所)

増田 和茂(健康・体力づくり事業財団)

演者：「自治体と産業界が協働して取り組む『元気ったい!ふくおか』プロジェクト」

荒尾 裕子(国立健康・栄養研究所)

「保健師である健康運動指導として~まちづくりの観点から~」

塙 久子(習志野市役所市民経済部国保年金課)

「健康運動指導士資格を有する管理栄養士の立場から」

木村 典代(高崎健康福祉大学健康福祉学部健康栄養学科)

「健康サービス産業の視点から見た健康づくりの課題と大きな可能性」

高崎 尚樹(株式会社ルネサンス)

指定発言：「運動指導の重要性と運動指導士の役割」

松本 弘志(NPO法人日本健康運動指導士会)

## 日本学術会議労働雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会・日本公衆衛生学会合同公開シンポジウム

9:50~11:35 第4会場(ホールD5)

非正規雇用と働く人の生活・健康・安全

座長：小林 章雄(愛知医科大学医学部衛生学講座)

矢野 栄二(帝京大学医学部衛生学公衆衛生学)

演者：「挨拶学術会議からの挨拶」

和田 肇(名古屋大学大学院法学研究科)

「非正規雇用の現状と今後」

湯浅 誠(NPO法人自立生活サポート

センター・もやい/反貧困ネットワーク)

「雇用安定と均等待遇をめざして労働法、社会保障法を再構築する必要性」

脇田 滋(龍谷大学法学部)

「非正規雇用と労働者の健康」

矢野 栄二(日本産業衛生学会非正規雇用研究会代表世話人)

「30年ぶりの日本学術会議提言に向けて—労働雇用と安全衛生委員会の活動」

岸 玲子(北海道大学環境健康科学研究教育センター)

## 日本学術会議健康・生活科学委員会・環境学委員会合同環境リスク分科会・日本公衆衛生学会合同公開シンポジウム

15:00~16:30 第2B会場(ホール5(2))

環境リスク分野における人材育成の現状と課題

座長：内山 巖雄(京都大学)

清水 英佑(中央労働災害防止協会労働衛生調査分析センター)

演者：「地方衛生研究所、地方環境研究所における人材育成」

吉村 健清(産業医科大学)

「労働衛生分野における人材育成について」

宮下 和久(和歌山県立医科大学医学部衛生学教室)

「建築衛生分野における人材育成について」

吉野 博(東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻サステナブル環境構成学分野)

## 奨励賞受賞講演1

13:15~13:35 第2B会場(ホール5(2))

高齢者のQOLと生活機能の規定要因に関する疫学研究

座長：車谷 典男(奈良県立医科大学地域健康医学講座)

演者：岡本 希(奈良県立医科大学地域健康医学教室)

## 奨励賞受賞講演2

13:35~13:55 第2B会場(ホール5(2))

睡眠習慣に関する公衆衛生学研究

座長：尾米 厚(鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野)

演者：兼板 佳孝(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

**奨励賞受賞講演3**

13:55~14:15 第2B会場(ホール5(2))  
循環器疾患予防のための早期動脈硬化の形態学的・  
生化学的評価に関する研究

座長: 谷川 武 (愛媛大学大学院医学系研究科  
医療情報解析学講座公衆衛生  
健康医学分野)

演者: 崔 仁哲 (大阪大学大学院医学系研究科  
公衆衛生学)

**奨励賞受賞講演4**

14:15~14:35 第2B会場(ホール5(2))  
地域医療連携体制構築に関する実践的研究

座長: 岸本 泰子 (島根県松江保健所)

演者: 恵上 博文 (山口県宇部環境保健所)

**奨励賞受賞講演5**

14:35~14:55 第2B会場(ホール5(2))  
社会団体の文化と社会関係を基盤とした公衆衛生活  
動の実践と研究

座長: 麻原きよみ (聖路加看護大学)

演者: 大森 純子 (聖路加看護大学)

**ランチョンセミナー9**

12:00~13:00 第1会場(ホールC)  
高齢者に対する23価肺炎球菌莢膜多糖体ワクチン

座長: 里村 一成 (京都大学医学部公衆衛生学  
(社会健康医学系健康政策・  
国際保健学))

演者: 金澤 實 (埼玉医科大学呼吸器内科)

共催: MSD 株式会社

**ランチョンセミナー10**

12:00~13:00 第2A会場(ホール5(1))  
亜鉛欠乏症と疾病—亜鉛はなぜからだに必要なの?  
—

座長: 大井田 隆 (日本大学医学部社会医学系公  
衆衛生学分野)

演者: 柳澤 裕之 (東京慈恵会医科大学環境保健  
医学講座)

共催: ゼリア新薬工業株式会社

**ランチョンセミナー11**

12:00~13:00 第2B会場(ホール5(2))  
睡眠時無呼吸症候群の病態と治療

座長: 佐藤 誠 (筑波大学大学院人間総合科学  
研究科睡眠医学講座)

演者: 赤柴 恒人 (日本大学医学部睡眠学・呼吸

器内科)

共催: 帝人在宅医療株式会社

**ランチョンセミナー12**

12:00~13:00 第4会場(ホールD5)

不眠症治療の重要性と今後の展望

座長: 土井由利子 (国立保健医療科学院研修企画  
部)

演者: 内山 真 (日本大学医学部精神医学系)

共催: アステラス製薬株式会社/サノフィ・アベン  
ティス株式会社

**平成22年度 公衆衛生活動の遂行能力向上セミナー**

開催日時: 10月29日(金) 13:30~17:30

会場: 東京国際フォーラムホールD5

テーマ: 保健医療活動: 地域から公共政策へ  
プログラム:

「保健医療活動に必要なヘルスコミュニ  
ケーション」(60分(講義)+30分(演習))  
蝦名 玲子 (グローバルヘルスコミュニ  
ケーションズ代表)

「地域住民と共に進めた保健活動—地域に  
元気の輪を—」(60分)

関根綾希子 (新潟県南魚沼地域振興局健康  
福祉環境部)

「保健医療をめぐる公共政策の課題と現実」  
(60分)

河原 和夫 (東京医科歯科大学医歯学総合  
研究科政策科学分野教授)

「保健医療活動の評価としての疫学」(20分)  
磯 博康 (大阪大学医学系研究科公衆衛  
生学教授)

## 7 一般演題

一般演題数 1,721件

分科会	分科会名	演題数
第1分科会	疫学・保健医療情報	49
第2分科会	ヘルスプロモーション	128
第3分科会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	191
第4分科会	保健行動・健康教育	87
第5分科会	親子保健・学校保健	208
第6分科会	高齢者のQOLと介護予防	189
第7分科会	高齢者の医療と福祉	69
第8分科会	地域社会と健康	52
第9分科会	難病・障害の医療と福祉	29
第10分科会	精神保健福祉	73
第11分科会	口腔保健	30
第12分科会	感染症	112
第13分科会	健康危機管理	81
第14分科会	医療制度・医療政策	59
第15分科会	公衆衛生従事者育成	92
第16分科会	保健所・衛生行政・地域保健	58
第17分科会	公衆栄養	67
第18分科会	健康運動指導	41
第19分科会	食品衛生・薬事衛生	23
第20分科会	産業保健	27
第21分科会	環境保健	22
第22分科会	国際保健	34
	合 計	1,721

## 8 各プログラム参加人数（開始10分頃の概数）

1 日目：2010年10月27日（水）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
第1会場 (ホールC)	開会式		533名
	特別講演1	社会保障を語る	1,000名
	学会長講演	公衆衛生とは何か～調査研究から政策へ～	1,380名
	総会		172名
	メインシンポジウム1	科学的根拠に基づいた公衆衛生政策	526名
	日本公衆衛生学会認定専門家制度発足記念シンポジウム	明日の公衆衛生に求められる専門性	410名
第2会場 (ホールB5)	公衆衛生行政研修フォーラム1	がん検診受診率50%をめざして	180名
	公衆衛生行政研修フォーラム2	21世紀のパンデミックにどう対応すべきか —新型インフルエンザの経験から学ぶ— ※H23年日本医学会プレシンポジウム—日本医学会共催	240名
第3会場 (ホールD7)	公衆衛生行政研修フォーラム3	公衆衛生看護の発展に向けて—点から面へと展開する保健師活動	304名
	公衆衛生行政研修フォーラム4	地域の健康危機に栄養・食からどう対処するか	80名
第4会場 (ホールD5)	シンポジウム1	医療資源の適正配分と医療連携の在り方	160名
	教育講演1	特定健診・特定保健指導の現状と課題—市町村国保における実施状況から—	251名
	教育講演2	親子保健，小児医療をめぐる最近の動向	179名

2 日目：2010年10月28日（木）

会場	プログラム	演 題 等	参加者概数
第1会場 (ホールC)	日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会フォーラム	新時代の危機兆候の早期把握とその対応～何が必要で何が可能なか，公衆衛生モニタリング・レポート委員会の活動から～	560名
	記念講演	包括的地域保健活動の展開手法として開発された健康都市アプローチ	350名
	教育講演3	医療政策領域の実証研究	240名
	メインシンポジウム2	健康づくりのポピュレーションアプローチ —健康づくり支援環境をどう整備するか？—	370名
	シンポジウム2	地域における自殺対策の展開戦略と評価：自殺対策の強化に向けて	540名
第2会場 (ホールB5)	公衆衛生行政研修フォーラム5	公衆衛生行政職，特に保健所における人材育成について	260名
	公衆衛生行政研修フォーラム6	特定健診・特定保健指導の5年目に向けて	450名
	シンポジウム3	介護予防のエビデンスとプラクティス：エビデンスからこれからの介護予防プログラムを考える	210名
第3会場 (ホールD7)	シンポジウム4	睡眠公衆衛生の推進に向けて	322名
	教育講演4	偽造医薬品の消費による健康被害リスクの低減対策パブリックヘルス問題としての健康食品	59名
		食品保健とリスクコミュニケーション感染症対策における公衆衛生学の役割—インフルエンザワクチンを例として	
	地衛研フォーラム	食の安全・安心確保に向けた取り組み	78名
	教育講演5	食品保健とリスクコミュニケーション	102名
	全国公衆衛生関連学協会連絡協議会設立記念公開フォーラム	みんなで進めよう，子どものヘルスプロモーション！	265名
	日本学術会議・日本公衆衛生学会・全国公衆衛生関連学協会連絡協議会共催公開フォーラム		
第4会場 (ホールD5)	日本学術会議：日本公衆衛生学会合同公開シンポジウム	公衆衛生大学院の現状と展望	116名
	日本学術会議パブリックヘルス科学分科会・日本公衆衛生学会合同公開シンポジウム	パブリックヘルス問題としての健康食品	130名
	教育講演6	感染症対策における公衆衛生学の役割—インフルエンザワクチンを例として	96名

3日目：2010年10月29日（金）

会場	プログラム	演題等	参加者概数
第1会場 (ホールC)	特別教育講演	わが国のたばこ規制推進への期待	292名
	シンポジウム5	たばこ規制の現状と今後の課題—FCTCの批准国として実効性のある規制・対策をどう進めるか?—	315名
	教育講演7	アルコール問題と公衆衛生	214名
第2A会場 (ホールB5(1))	特別講演2	統一的なリスク評価は可能か?—環境・食品・衛生—	120名
	シンポジウム6	建築物衛生法施行40周年を記念して	61名
	教育講演8	国立保健医療科学院の将来への展望	150名
	教育講演9	介護保険制度の未来と課題—『家族による介護』, 『社会による介護』そして, 『地域包括ケアへ』—	242名
第2B会場 (ホールB5(2))	健康運動指導分科会創設記念 基調講演・シンポジウム	特定保健指導に求められる『正しくたのしい健康づくり』	275名
	奨励賞受賞講演		137名
	日本学術会議健康・生活科学委員会・ 環境学委員会合同環境リスク分科会・ 日本公衆衛生学会合同公開シンポジウム	環境リスク分野における人材育成の現状と課題	49名
第4会場 (ホールD5)	日本学術会議労働雇用環境と働く人の 生活・健康・安全委員会・日本公衆衛 生学会合同公開シンポジウム	非正規雇用と働く人の生活・健康・安全	220名
	公衆衛生活動の遂行能力向上セミナー		89名

## 9 自由集会

10月27日 (水)

No.	名 称	部屋	参加者数
1	若葉保健師からのメッセージ ～明日の元気に向けて～	D401	35名
2	地域保健従事者が住民等から受ける暴力の防止	D502	23名
3	第2回新しい介護予防を考える集い	D503	20名
4	感染症情報の現状と展望を考える会	G401	不明
5	運動と栄養の疫学セミナー	G402	92名
6	第3回公衆衛生・公衆栄養分野における管理栄養士の活動を考える会	G403	22名
7	保健師教育情報交換会	G404	70名
8	地域で介護予防をどう進めるか、ポピュレーション戦略とハイリスク戦略	G405	不明
9	「健康づくりと運動」自由集会	G407	70名
10	前向き子育てプログラム—その理論と実践	G408	不明
11	結核集団発生の対策に関する自由集会	G409	116名
12	「ママと赤ちゃんが夜よく眠れるように」妊娠中からの親教育	G410	25名
13	保健指導向上委員会～より充実した健康支援のために	G501	20名
14	性問題対策を考える会 効果がみえて楽しい!『性教育(生きるための心の教育)』の連携方法と評価	G502	不明
15	第3回法医公衆衛生学研究会	G503	18名
16	学び合い、育ち合い—沖縄における新人保健師育成の実践—	G504	14名
17	共感・共生のパワーを活用するコミュニティ・エンパワメント	G505	28名
18	健康生成論とストレス対処力 SOC の学習・研究交流会 (第4回)	G604	37名
19	親も変わる保健師も変わる 母子保健活動～振り返ろう 思い出そう 保健師のマインド～	G607	54名
20	全国いきいき公衆衛生の会	G701	100名

10月28日 (木)

No.	名 称	部屋	参加者数
21	保健医療科学院 看護部会の現状と課題	D401	不明
22	Win-Win な関係を通じた地域の健康づくり	D502	46名
23	セーフコミュニティ活動を支える疫学・公衆衛生学の役割	D503	12名
24	専門職が携わる地域包括ケアシステムのあり方を考える ～(社)日本理学療法士協会 (社)日本作業療法士協会 地域保健総合推進事業研究班～	G401	20名
25	日本公衆衛生看護研究会 公衆衛生看護を語る—保健師は分散配置の中で、どうつながるか	G402	35名
26	「住まいと健康」フォーラム	G403	30名
27	危機管理時の栄養及び食生活の支援について —災害時における住民が喜ぶ給食支援—自衛隊との連携を中心に～	G404	24名
28	知ろう・語ろう・考えよう!“一歩先行く”健やか親子21 第10回～キラッと光る取り組み事業から、健やか親子21推進の糸口を探ろう!～	G405	25名
29	ジョンズノウの会	G407	25名
30	第19回 多胎児を産み育てる家庭への保健サービスのあり方を考える集会	G408	25名
31	地域の力“(ソーシャル・キャピタル)と健康—最新の知見と実際の保健医療行政への応用—	G409	50名
32	地域看護学教育 FD の会「現場と大学との共同による臨地実習指導のあり方を考える(保健師の実践活動の充実と効果的な学生教育の両方に意義のある実習とは)」	G410	37名
33	社会的な絆の維持・構築とマインドフルネス	G501	33名
34	全国衛生行政研究会セミナー(地域医療再生計画を考える)	G502	20名
35	世代間交流によるコミュニティ再生を考える会	G503	31名
36	第10回公衆衛生に国境はない	G504	42名
37	第13回レセプト情報の活用を考える自由集会	G505	53名
38	喫煙対策	G508	34名
39	Health Impact Assessment (HIA:健康影響評価)の政策、施策、事業への適用(日本 HIA 研究会)	G509	7名
40	公衆衛生と危機管理 第7回 新型インフルエンザ対応でのインシデントコマンドシステムの活用	G604	14名
41	公衆衛生地域医療関係者の情報の共有と研究支援の試み 「公衆衛生ねっと」～研究費取得のための戦略～	G605	40名
42	「アプリシエイティブ」なアプローチ ～強みを引き出し成長する組織へ～	G607	18名
43	第4回 Kenneth J Rothman 教授講演会(Teikyo-Harvard Program 主催)	G701	92名
44	健康を守る社会基盤の再構築と保健師(PHN)の役割・展望	ラウンジ	55名

## 10 ブース

## 企業展示

## 《紹介ブース（一般展示）》

- |                                      |                                       |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 公益社団法人地域医療振興協会<br>ヘルスプロモーション研究センター | 14 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座             |
| 2 全国保健師教育機関協議会                       | 15 NPO 法人国際エコヘルス研究会                   |
| 3 有効性評価に基づくがん検診ガイドライン                | 16 金沢大学医薬保健研究域附属健康増進科学センター            |
| 4 特定非営利活動法人地域がん登録全国協議会               | 17 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻<br>地域看護学分野 |
| 5 結核研究所                              | 18 大分県立看護科学大学                         |
| 6 特定非営利活動法人 HIV と人権情報センター            | 19 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻              |
| 7 NPO 法人日本介助犬アカデミー                   | 20 社団法人元気クラブいなべ                       |
| 8 ESP バイオテックラボ株式会社                   | 21 社団法人日本家族計画協会                       |
| 9 日本疫学会                              | 22 前向き子育てプログラム                        |
| 10 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野              | 23 東京医療保健大学                           |
| 11 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻             | 24 国立保健医療科学院                          |
| 12 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座                 | 25 NPO 法人日本ナルコレプシー協会                  |
| 13 株式会社プリメドジャパン                      | 26 株式会社社会保険出版社                        |

## 《紹介ブース（企画展示）》

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 1 市原市保健センター（歯っぴい8020応援隊） | 5 北海道名寄保健所       |
| 2 千葉県                    | 6 あきる野市          |
| 3 胎内市役所                  | 7 財団法人ビル管理教育センター |
| 4 財団法人健康・体力づくり事業財団       |                  |

## 《機器展示》

- |                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1 旭化成ライフサポート株式会社                      | 12 大正製薬株式会社           |
| 2 味の素株式会社                             | 13 帝人在宅医療株式会社         |
| 3 株式会社いわさき                            | 14 日本ビーシージー製造株式会社     |
| 4 NTT アイティ株式会社                        | 15 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 |
| 5 花王株式会社                              | 16 株式会社バイオスペース        |
| 6 株式会社健康日本総合研究所                       | 17 株式会社VIP グローバル      |
| 7 三洋電機株式会社                            | 18 株式会社マッシュルームソフト     |
| 8 シスメックス株式会社                          | 19 株式会社メルシー           |
| 9 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社<br>コンシューマーカンパニー | 20 株式会社ヤマト            |
| 10 株式会社スズケン                           | 21 ライオン株式会社           |
| 11 スリープウェル株式会社                        | 22 株式会社両備システムズ        |

## 《音響展示》

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1 株式会社コスモサウンド | 2 株式会社ラシュラン |
|---------------|-------------|

## 《書籍展示》

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1 株式会社東京法規出版  | 3 株式会社文光堂書店 |
| 2 株式会社ニホン・ミック |             |

## 提供（飲料）

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 武田薬品工業株式会社 | 3 株式会社ヤクルト本社 |
| 2 株式会社大塚製薬工場 |              |

## 11 付随行事

行 事 名	日 程	会 場
衛生学公衆衛生学教育協議会	10月26日(火) 15:00~18:00	東京国際フォーラム ホール D5
全国衛生部長会		
世話人会	10月26日(火) 10:00~13:00	京王プラザホテル 本館4階 けやき
総会	10月26日(火) 13:00~17:00	京王プラザホテル 本館4階 花 AB
意見交換会	10月26日(火) 17:30~19:30	京王プラザホテル 本館43階 ムーンライト
全国保健所長会政令市部会総会	10月25日(月) 10:00~12:00	京王プラザホテル八王子 4階 錦
全国政令市衛生部局長会総会		
総会	10月25日(月) 14:00~16:00	京王プラザホテル八王子 4階 錦
会長表彰式	10月25日(月) 16:30~17:00	京王プラザホテル八王子 4階 扇
懇親会	10月25日(月) 18:00~20:00	京王プラザホテル八王子 4階 錦
全国保健所長会		
役員会	10月25日(月) 16:00~17:00	東京都庁 第一本庁舎42階 特別会議室 D
総会	10月26日(火) 10:00~12:16	京王プラザホテル 南館4階 扇
研究事業報告	10月26日(火) 13:20~14:10	京王プラザホテル 南館4階 扇
会員協議	10月26日(火) 14:30~17:00	京王プラザホテル 南館4階 扇
意見交換会	10月26日(火) 17:30~19:30	京王プラザホテル 本館4階 花 CD
地方衛生研究所全国協議会		
総会	10月26日(火) 13:30~16:50	東京都庁 第二本庁舎1階 二庁ホール
意見交換会	10月26日(火) 17:30~19:30	京王プラザホテル 本館43階 ムーンライト
全国精神保健福祉センター長会 同研究協議会		
理事会	10月26日(火) 11:00~12:00	アジュール竹芝 14階 天平(西)
センター長会議	10月26日(火) 13:00~14:45	アジュール竹芝 13階 飛鳥
研究協議会	10月26日(火) 14:55~17:00	アジュール竹芝 13階 飛鳥
意見交換会	10月26日(火) 17:30~19:00	アジュール竹芝 14階 天平
研究協議会	10月27日(水) 18:50~16:15	アジュール竹芝 13階 飛鳥
全国保健統計協議会		
役員会	10月26日(火) 11:30~13:00	京王プラザホテル 本館47階 ひかり
総会	10月26日(火) 14:00~17:00	東京都庁 第二本庁舎10階 201・202会議室
全国保健師教育機関協議会		
理事会	10月25日(月) 15:00~18:00	東京ガーデンパレス
総会	10月26日(火) 10:30~12:30	東京ガーデンパレス 2階 高千穂
30周年記念式典	10月26日(火) 14:00~16:00	東京ガーデンパレス 2階 高千穂
祝賀会	10月26日(火) 17:30~19:30	東京ガーデンパレス 2階 高千穂
平成22年度公衆衛生活動の遂行能力向上セミナー	10月29日(金) 13:30~17:30	東京国際フォーラム ホール D5
第69回日本公衆衛生学会総会・国際サテライトシンポジウム/第4回アジア公衆衛生協会会議/第2回 WFPHA 西太平洋地区会議	10月28日(木) 19:00~17:00	国立保健医療科学院 2階 交流対応大会議室

## 12 収支決算書見込(案)

〈収入の部〉

(単位：円)

科 目	数量	単価	決算額	備 考
1 負担金収入			13,278,000	
(1) 都道府県等分担金			4,878,000	各都道府県, 政令指定都市
(2) 公衆衛生学会負担金			3,000,000	日本公衆衛生協会
(3) 開催地負担金			5,400,000	東京都
• 東京都			3,000,000	
• 23区, 八王子市			2,400,000	
2 抄録集売上収入			32,640,500	
(1) 予約売上	2,360	7,500	17,700,000	事前: 2,356, 当日: 4
(2) 抄録集送料	1,549	500	774,500	
(3) 当日売上	1,739	8,000	13,912,000	
(4) 抄録集個別購入(事前料金)	14	9,000	126,000	
(5) 抄録集個別購入(当日料金)	16	8,000	128,000	
3 演題申込金収入	1,721	3,000	5,163,000	事前: 1,708, 当日: 13
4 諸収入			31,649,038	
(1) 寄付金収入			5,196,850	
• 財団経由			567,480	
• 学会口座			4,629,370	
(2) 広告料収入			2,151,500	
• 表4(裏表紙)	1	210,000	210,000	
• 表3(裏表紙ウラ)	0	157,500	0	
• 表2(表紙ウラ)	0	157,500	0	
• 後付A(記事中, 1頁)	5	105,000	525,000	
• 後付B(記事中, 1/2頁)	5	52,500	262,500	
• ストラップ(ネームホルダー)	1	270,000	270,000	
• ストラップ(ネームホルダー)	1	800,000	800,000	
• ホームページバナー	1	84,000	84,000	
(3) ブース展示収入			6,084,688	
• 機器展示	24	210,000	5,040,000	
• 一般展示小間(紹介ブース)	30	26,250	787,500	
• 企画展示小間(紹介ブース)	7	0	0	
• 音響機器展示小間	2	52,500	105,000	
• 書籍展示小間	3		152,188	
(4) 共催セミナー収入			17,010,000	
• ランチョンセミナー: ホールC/ホールB5	1	1,575,000	1,575,000	
• ランチョンセミナー: ホールD7/D5	11	1,260,000	13,860,000	
• 特別教育講演	1	1,575,000	1,575,000	
(5) 助成金			900,000	
• 日本大学			100,000	
• 財団法人総合健康推進財団			800,000	
(6) 拡大実行委員会等参加費			306,000	
6 雑収入			7,538	
(1) 利息			7,538	
合 計			82,738,076	

## 〈支出の部〉

(単位：円)

科 目	数量	単価	決算額	備 考
1 事前準備費			19,432,339	
(1) 事務局費			1,218,000	
(2) 会議費・主催者交通費等			617,275	
(3) 前回大会視察・プロモーション経費			111,300	
(4) ホームページ作成費			471,450	
(5) 演題登録・参加登録関連費			1,200,215	
(6) 通信運搬費			1,812,349	
(7) 印刷・制作費			13,897,800	
(8) 消耗品費			25,200	
(9) 雑費			78,750	
2 当日運営費			47,443,051	
(1) 会場関連費			25,517,821	
(2) 当日運営人件費			5,350,275	
(3) 音響・映像関連機材			6,150,375	
(4) 看板・展示・備品関連費			8,230,037	
(5) 託児所手配			577,500	
(6) 運営交通・宿泊・昼食費			1,338,683	
(7) 会議用備品			278,360	
3 招請費等			3,188,633	
4 記録集関係			4,866,750	
5 第4回アジア公衆衛生協会会議関連費			378,926	
6 事後処理経費			1,271,220	
7 雑費			10,710	
8 全体進行管理費			4,621,087	
小 計			78,874,052	
消 費 税			2,336,459	※2(1)会場関連費, 3.招請費等, 消費税込 および対象外項目を除く合計金額の5%
返 還 金			1,525,360	日本公衆衛生学会
合 計			82,738,076	